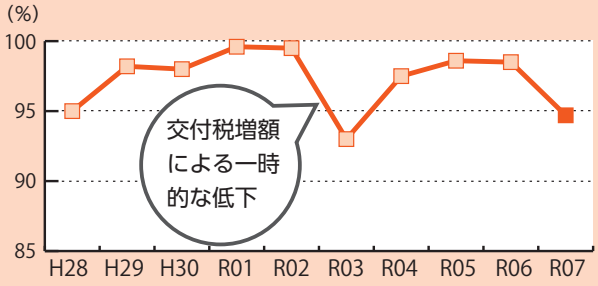
財政の各種指標

町の家計の健康状態を示す「経常収支比率」と「財政４指標」（赤字や借金返済の負担割合など）が、２年連続で改善しました。グラフを用いて現在の財政状況を分かりやすく解説します。

経常収支比率　94.7%

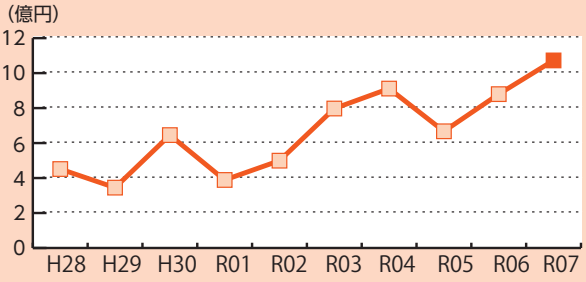
財政構造の弾力性を示す指標で、町税などの経常的な収入が人件費や公債費などの経常経費にどれくらい充てられているかを表しています。令和７年度は令和６年度に比べ3.8ポイント改善しました。

※経常収支比率は、高くなればなるほど財政が硬直化します。



実質収支　10億7254万円

実質収支とは、決算において「その年度の純粋な黒字（または赤字）」を示す最も基本的な指標です。単純な収入と支出の差額ではなく、「来年度に使うことがすでに決まっているお金」を差し引いて計算しています。



健全化判断比率（財政４指標）

町の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標です。

いずれの指標も国の基準を下回っており、実質公債費比率は３ヵ年平均では1.1ポイント、単年度では1.7ポイント改善しました。将来負担比率は13.7ポイント改善しました。

指標	田原本町	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	－	13.68%	20.00%
②連結実質赤字比率	－	18.68%	30.0%
③実質公債費比率	10.6%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	－	350.0%	

用語説明

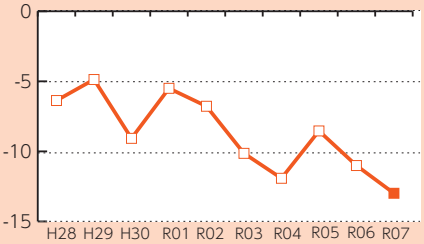
①…標準的な収入に対する普通会計の実質的な赤字の割合

②…標準的な収入に対する全会計の実質的な赤字の割合

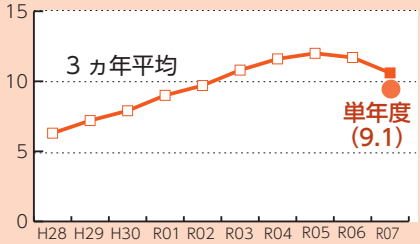
③…標準的な収入に対して普通会計が負担する実質的な借入金の返済の割合

④…標準的な収入に対して普通会計が将来負担すべき負債の割合

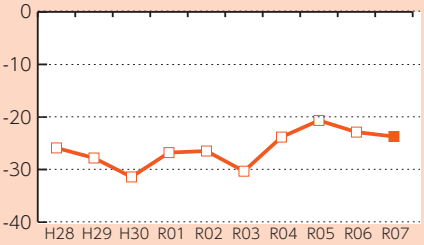
実質赤字比率の推移（%）



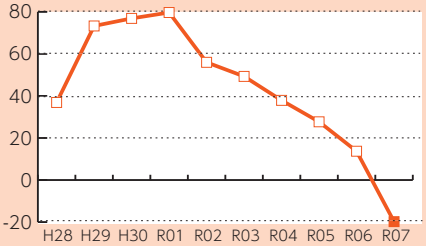
実質公債費比率の推移（%）



連結実質赤字比率の推移（%）

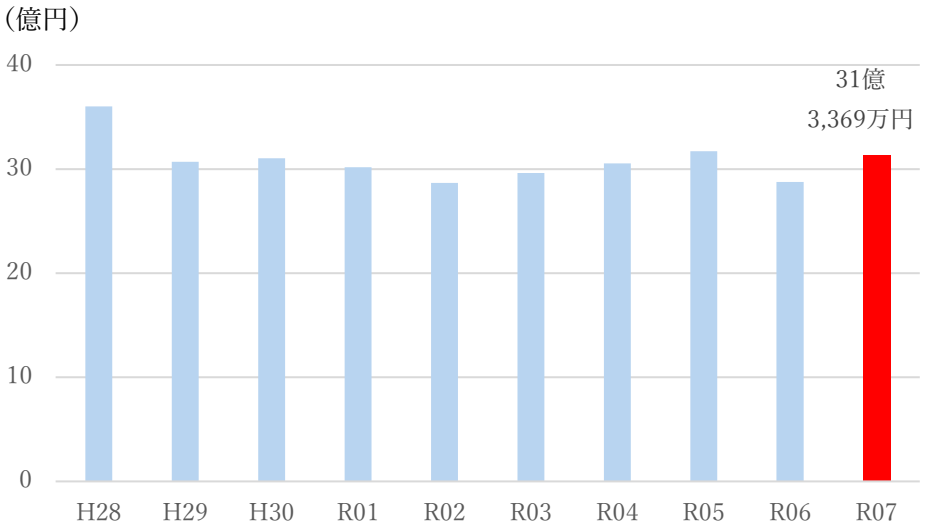


将来負担比率の推移（%）



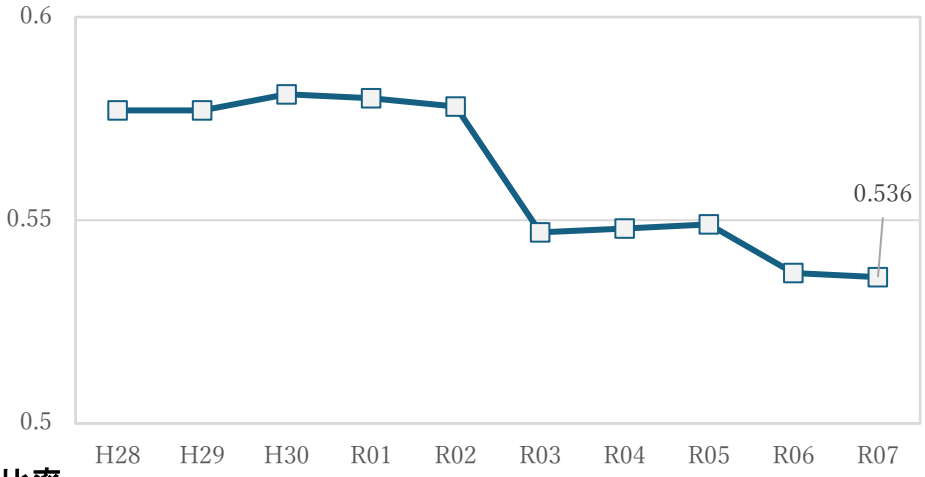
基金残高 31 億 3369 万円

令和 7 年度に田原本町立の小学校及び中学校における、田原本町の未来そのものである子どもの学びを応援するために要する経費の財源に充てるため、田原本町未来の学び応援基金を設置した。



財政力指数　0.536

標準的な行政経費に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表すもので、指数が高いほど財源に余裕があることを示します。



資金不足比率

地方公営企業の資金不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示すものです。下水道事業会計は資金不足額がないため該当はありませんでした。

会計名	令和 7 年度	経営健全化基準
下水道事業会計	－	20.0%

※経営健全化基準とは、早期健全化基準に相当する基準です。

※資金の不足額がないため、資金不足比率は「－」表示となります。